

毎月勤労統計調査 平成 11 年分結果確報

[前年比でみて]

- ・現金給与総額は、2年連続で減少
- ・製造業の所定外労働時間は、2年ぶりに増加
- ・常用雇用は、平成3年以降で初めての減少

概況

1 賃金の動き 平均月間現金給与総額は、前年比 1.3%減の 353,679 円と 10 年の 1.3%減に続き、2年連続の減少となった。現金給与総額のうち、きまって支給する給与は、前年と同水準の 281,283 円で、所定内給与は、0.1%減の 263,297 円、所定外給与は、1.5%増の 17,986 円、特別に支払われた給与は、5.8%減の 72,396 円となった。

実質賃金は、前年比 0.9%減と 2年連続の減少となった。

2 労働時間 平均月間総実労働時間は、前年比 1.1%減の 153.3 時間と 3 年連続の減少となった。総実労働時間のうち所定内労働時間は、1.0%減の 143.8 時間、所定外労働時間は、1.9%減の 9.5 時間となった。製造業の所定外労働時間は、0.9%増の 12.3 時間と 2年ぶりに増加した。

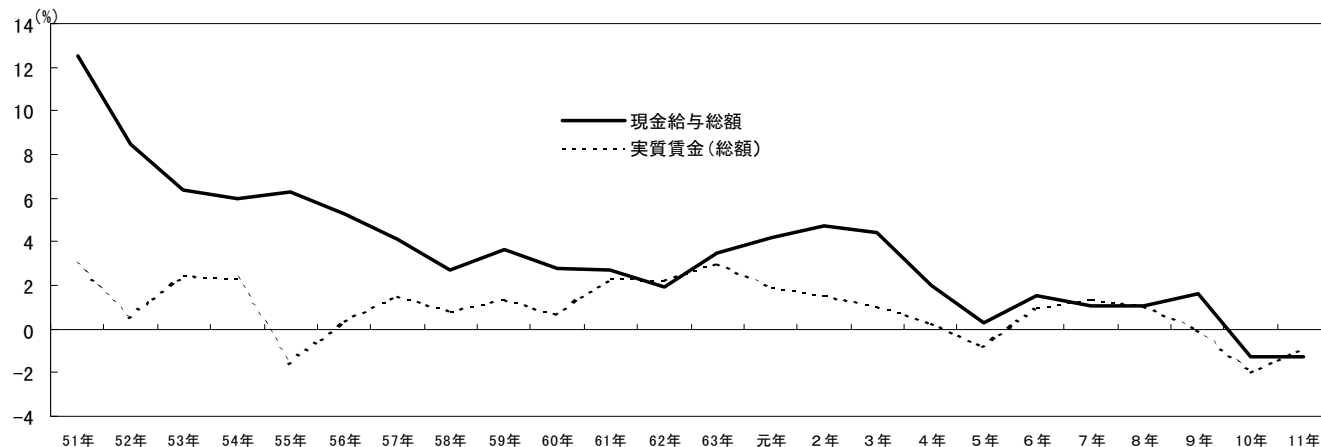
なお、平均月間労働時間数を 12 倍して年換算すると、総実労働時間は規模 5 人以上で 1,840 時間となり、規模 30 人以上では 1,842 時間となった。所定内労働時間は 1,726 時間（30 人以上では 1,709 時間）となった。

3 雇 用 常用雇用の動きをみると、前年比 0.3%減と平成 3 年以降で初めて減少した。このうち一般労働者は、1.0%減と 2年連続で減少し、パートタイム労働者は、3.4%増と 8 年以降高い伸びを続けている。

賃 金	現金給与総額	きまって支給する 給与	所定内給与	所定外給与	特別に支払われた 給与
(月間)	353,679円 (-1.3)	281,283円 (0.0)	263,297円 (-0.1)	17,986円 (1.5)	72,396円 (-5.8)
労働時間	総実労働時間	所定内労働時間	所定外労働時間	出勤日数	所定外労働時間 (製造業)
(月間)	153.3時間 (-1.1)	143.8時間 (-1.0)	9.5時間 (-1.9)	19.9日 <-0.2>	12.3時間 (0.9)
(年間)	1,840時間 [1,842時間]	1,726時間 [1,709時間]	114時間 [133時間]		147時間 [162時間]
雇用労働異動	常用労働者	一般労働者	パートタイム 労働者	入職率	離職率
(月間)	43,534千人 (-0.3)	35,033千人 (-1.0)	8,502千人 (3.4)	1.99% <0.11>	2.04% <0.08>

賃金の推移（前年比）

— 調査産業計，事業所規模 5 人以上（平成 3 年以前は事業所規模 30 人以上） —



資料：総務庁統計局